

瀬戸内海環境保全特別措置法に 基づく事前評価に関する書面

2026年 9月 7日

申請者の住所及び氏名（法人にあっては所在地、名称、代表者名）

山口県山陽小野田市大字小野田 7473-2

田辺ファーマファクトリー株式会社小野田工場

小野田工場長 上村 亮二

1. 許可申請の概要

(1) 工場の概要

工場又は事業場の名称	田辺ファーマファクトリー株式会社 小野田工場			
所在地	山口県山陽小野田市大字小野田7473-2			
業種	医薬品原薬・製剤製造業	従業員数	265人	
主要製品名	ヘルベッサー、エダラボン、セレジスト、タナトリル			
特定施設 (番号・名称・基数)	(変更前) (変更後) 47-ロろ過施設：10基 → 10基 (変更なし) ※ 47-ハ分離施設：11基 → 11基 (変更なし) 47-ニ混合施設：14基 → 14基 (変更なし) 47-ホ廃ガス洗浄施設：6基 → 9基 (3基増加) 64-2 (イ) 沈でん施設：2基 → 2基 (変更なし) 74 特定事業から排出される 水の処理施設 1基 → 0基 (1基減少) ※研究棟譲渡により、既存の処理施設を1基廃止し、廃ガス洗浄施設を3基設置。			
排水量	通常	11,221 m ³ /日	最大	11,868 m ³ /日
排水量及び 負荷量の増減	排水量：通常排水量：11,221 m³/日 (変動なし) 最大排水量：11,868 m³/日 (変動なし) 統合排水口での最大排水量×通常水質 COD負荷量：142.35 kg/日 (変動なし) 全窒素：114.58 kg/日 (変動なし) 全りん：1.042 kg/日 (変動なし)			
排水処理 施設の種類 及び数	活性汚泥処理装置：1基 強制凝集沈殿装置：1基			

(2) 特定施設の設置（変更）の理由及び概要

この度、親会社である田辺ファーマ(株)から東和薬品(株)に 100%の株式譲渡を行われることとなり、弊社事業所内にある田辺ファーマ(株)所有の研究棟が弊社に譲渡されることになりました。

これに伴い、現在届出を行っている特定施設(74 特定事業場から排出される水の処理施設)が共同施設でなくなるため、本特定施設の廃止届を行います。また、本特定施設の廃止に伴い、研究棟に設置されている既設スクラバー3 基を新たに有害物質使用特定施設として申請いたします。

さらに水濁法施行令改正に伴い、別紙 3 及び別紙 4 に記載の「大腸菌群数」の項目を「大腸菌数」に変更し、値の変更を行います。

なお、排水経路番号は追加され、各経路から排出される排水量の変動が生じますが、工場全体の特定排出水の総量に変動はありません。また、総排出水量および汚濁負荷量についても変動はありません。

(3) 排水口における排出水の汚染状態及び量が減少（変わらず）の場合は理由

特定施設から排出される特定有害物質を含む活性汚泥処理負荷の高い排水は、外部焼却処理し河川へは放流しません。これらの特定施設から排出される活性汚泥処理負荷の低い排水は、場内の活性汚泥処理施設で処理します。特定施設の設置及び廃止がございますが、設置対象の特定施設は既設の設備である為、特定施設から排出される特定排出水の総量は増加しておらず、活性汚泥処理施設への負荷は増大しておりません。従って、活性汚泥処理後および排水口の汚染状態の変動はありません。

また、工業用水の受け入れ量が一定ですので総排出水量の変動はありません。

なお、詳細については、以下のとおりとなります。

総排出水量（統合排水口）： 1 1, 2 2 1 m³/日（通常排出量変動なし）

1 1, 8 6 8 m³/日（最大排出量変動なし）

特定排出水の量： 3, 4 7 2 m³/日（通常排出量変動なし）

3, 6 7 5 m³/日（最大排出量変動なし）

COD： 1 4 2.3 5 kg/日（変動なし）

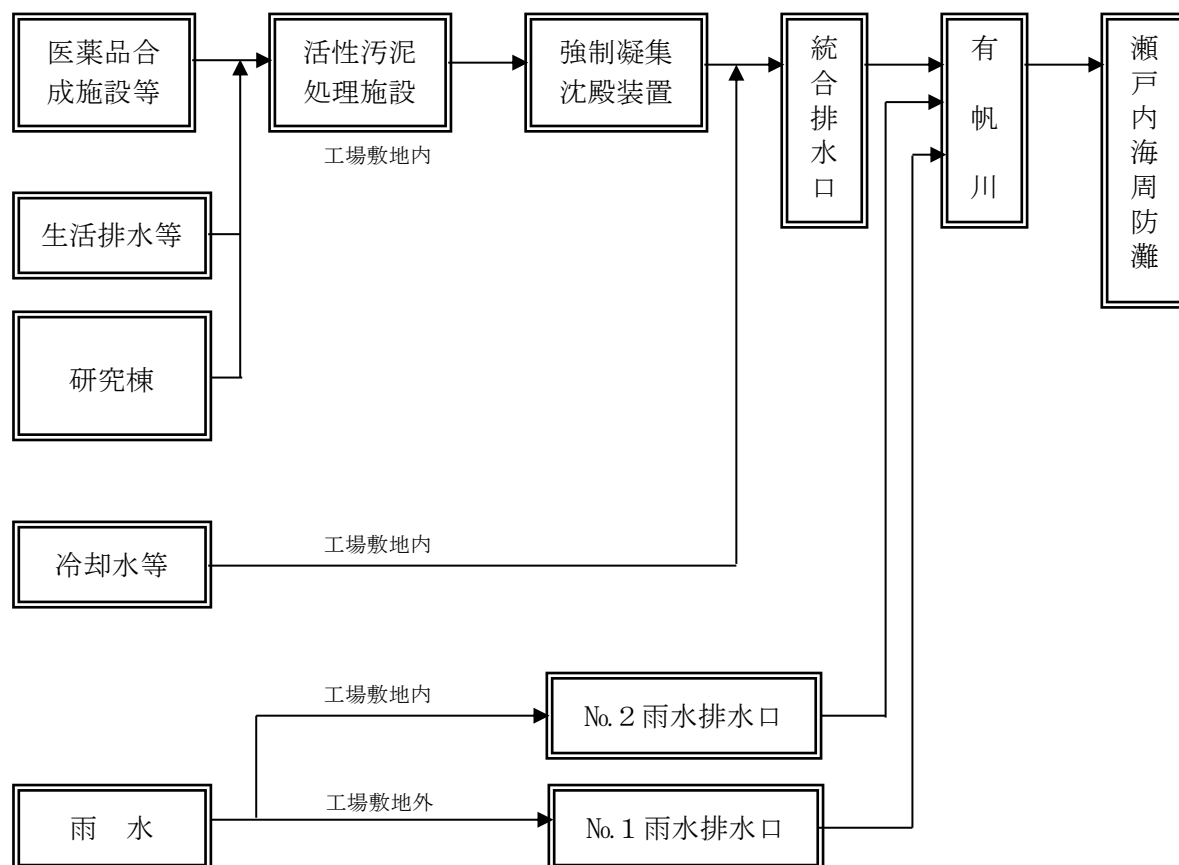
全窒素： 1 1 4.5 8 kg/日（変動なし）

全りん： 1.0 4 2 kg/日（変動なし）

2. 施行規則第4条第1項の既定に関する事項

(1) 工場又は事業場からの排水経路並びに工場又は事業場の排水口の位置及び数

- ア 排水口の位置 添付図 別図1のとおり
 イ 排水口の数 3カ所 (うち雨水 2カ所)
 ウ 排水系統及び水系図の略図



(2) 工場又は事業場の排水口の周辺の公共用水域について定められている水質汚濁に係る環境基準 準その他水質汚濁に係る環境保全上の目標に関する事項

ア 水質汚濁に係る環境基準

(イ) 人の健康に係る環境基準

項目	カドミウム	全シアン	鉛	六価クロム	砒素	総水銀	アルキル水銀	P C B	ジクロロメタン
基準値	0.003 mg/ℓ 以下	検出されないこと	0.01 mg/ℓ 以下	0.02 mg/ℓ 以下	0.01 mg/ℓ 以下	0.0005 mg/ℓ 以下	検出されないこと	検出されないこと	0.02 mg/ℓ 以下

項目	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,3-ジクロロプロペン
基準値	0.002 mg/ℓ 以下	0.004 mg/ℓ 以下	0.1 mg/ℓ 以下	0.04 mg/ℓ 以下	1 mg/ℓ 以下	0.006 mg/ℓ 以下	0.01 mg/ℓ 以下	0.01 mg/ℓ 以下	0.002 mg/ℓ 以下

項目	チウラム	シマジン (CAT)	チオベンカル ブ(ベン チオカーブ)	ベンゼン	セレン	硝酸性窒素 及び 亜硝酸性窒素	ふっ素	ほう素	1,4- ジオキサン
基準 値	0.006 mg/ℓ 以下	0.003 mg/ℓ 以下	0.02 mg/ℓ 以下	0.01 mg/ℓ 以下	0.01 mg/ℓ 以下	10 mg/ℓ 以下	0.8 mg/ℓ 以下	1 mg/ℓ 以下	0.05 mg/ℓ 以下

- 備考 1 基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については、最高値とする。
2 「検出されないこと」とは、定められた方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。
3 海域については、ふっ素及びほう素の基準は適用しない。

(イ) 生活環境に係る環境基準

排出先の河川・海域名		有 帆 川			
環 境 基 準 点		K C - 2			
環 境 基 準 類 型		B 類 型			
基 準 値	水 素 イ オ ン 濃 度 (PH)	6.5 以上 8.5 以下			
	生物化学的酸素要求量 (BOD) mg/ℓ	3mg/L 以下			
	化学的酸素要求量 (COD) mg/ℓ	—			
	浮 遊 物 質 量 (SS) mg/ℓ	25mg/L 以下			
	溶 存 酸 素 量 (DO) mg/ℓ	5mg/L 以上			
	大 腸 菌 数 CFU/100mℓ	1000CFU /100mL 以下			
	n-ヘキサン抽出物質量 mg/ℓ	—			
	全 窒 素 mg/ℓ	—			
	全 燐 mg/ℓ	—			

イ その他の水質汚濁に係る環境保全上の目標

(3) 工場又は事業場の各排水口における排出水の汚染状態の通常値及び最大値並びに当該排出水の1日当たりの通常量及び最大量並びに当該排出水の汚濁負荷量

排水口 番号又は 名称	区 分 項 目	現 状			設 置 (変更) 後			負荷量の 増 減
		通 常	最 大	※ 負荷量	通 常	最 大	※ 負荷量	
統 合 排 水 口	排水量 $\text{m}^3/\text{日}$	11221	11868		11221	11868		
	水素イオン濃度 (PH)	7.5	7.2 ~8.2		7.5	7.2 ~8.2		
	生物化学的酸素 要求量 (BOD)	17	34	201.8	17	34	201.8	な し
	化学的酸素要求 量 (COD)	12.5	19.5	148.4	12.5	19.5	148.4	な し
	浮 遊 物 質 量 (SS)	12	20	142.4	12	20	142.4	な し
	全 窒 素 (T-N)	8.9	12.3	105.6	8.9	12.3	105.6	な し
	全 磷 (T-P)	0.1	0.5	1.19	0.1	0.5	1.19	な し
雨 水 専 排 水 NO. 1	排水量 $\text{m}^3/\text{日}$							
	水素イオン濃度 (PH)							
	生物化学的酸素 要求量 (BOD)							
	化学的酸素要求 量 (COD)							
	浮 遊 物 質 量 (SS)							
	全 窒 素 (T-N)							
	全 磷 (T-P)							
雨 水 専 排 水 NO. 2	排水量 $\text{m}^3/\text{日}$							
	水素イオン濃度 (PH)							
	生物化学的酸素 要求量 (BOD)							
	化学的酸素要求 量 (COD)							
	浮 遊 物 質 量 (SS)							
	全 窒 素 (T-N)							
	全 磷 (T-P)							

※ 負荷量 (kg/日) = 最大排出量 ($\text{m}^3/\text{日}$) $\times$ 通常水質 (mg/ℓ) $\times 10^{-3}$

(4) 周辺公共用水域の水質の現況及び排出水の排出に伴い予測される周辺公共用水域の水質の変化の程度

ア 海 域

採水機関名		分析機関名	
-------	--	-------	--

測 定 点 名									
採水年月日及び時間		項目 区分	水温(℃)	p H	COD (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	T-N (mg/ℓ)	T-P (mg/ℓ)	DO (mg/ℓ)
第1回 年 月 日 時 分 干満の別：	水 質 の 現 況	表 層							
		中 層							
		平 均							
第2回 年 月 日 時 分 干満の別：		表 層							
		中 層							
		平 均							
第3回 年 月 日 時 分 干満の別：		表 層							
		中 層							
		平 均							
総 平 均									
将 来 水 質									

測 定 点 名									
採水年月日及び時間		項目 区分	水温(℃)	p H	COD (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	T-N (mg/ℓ)	T-P (mg/ℓ)	DO (mg/ℓ)
第1回 年 月 日 時 分 干満の別：	水 質 の 現 況	表 層							
		中 層							
		平 均							
第2回 年 月 日 時 分 干満の別：	水 質 の 現 況	表 層							
		中 層							
		平 均							
第3回 年 月 日 時 分 干満の別：	水 質 の 現 況	表 層							
		中 層							
		平 均							
総 平 均									
将 来 水 質									
測 定 点 名									

採水年月日及び時間	項目 区分		水温(℃)	p H	COD (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	T－N (mg/ℓ)	T－P (mg/ℓ)	DO (mg/ℓ)
第1回 年 月 日 時 分 干満の別：	水 質 の 現 況	表 層							
		中 層							
		平 均							
第2回 年 月 日 時 分 干満の別：		表 層							
		中 層							
		平 均							
第3回 年 月 日 時 分 干満の別：		表 層							
		中 層							
		平 均							
総 平 均									
将 来 水 質									

イ 河 川

採水機関名	※令和7年度版 山口県環境 白書参考資料集より抜粋				分析機関名	※令和7年度版 山口県環境 白書参考資料集より抜粋			
水域・測定点名	項目 区分 日時	p H	BOD (mg/ℓ)	COD (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	T-N (mg/ℓ)	T-P (mg/ℓ)	流量 (m³/日)	DO (mg/ℓ)
有 帆 川 KC-2	月	：	7.4～ 7.9	0.9～ 2.3	—	2～17	0.31～ 0.61	0.032～ 0.055	— 6.4～ 8.7
	日	：							
	日	：							
	平 均		7.7	0.9	—	4	0.45	0.045	— 7.1
将 来 水 質									
	月	：							
	日	：							
	日	：							
	平 均								
将 来 水 質									
	月	：							
	日	：							
	日	：							
	平 均								
将 来 水 質									

ウ その他当該水域に関する事項

(5) 影響範囲及び予測の方法

ア 汚濁負荷量の増加の有無 (有 ・ 無)

(ただし、汚濁負荷量の増加がない場合は、イ以下は省略する。)

イ 排水の公共用水域での影響範囲

添付第 図

ウ 予測の方法

ア) 海 域

(1) 新田式 ($\log (r^2 \theta / 2) = 1.226 \log Q + 0.086$) から求めた周辺公共用水域の外縁までの距離 (r) は、 m です。

(注) $\theta =$ (拡散角度)

$Q =$ $m^3 / \text{日}$ (最大排水量)

(2) ヨーゼフ・ゼンドナー式 { $C = 1 - \exp \left(-\frac{Q_0}{\theta d p} \left(\frac{1}{x} - \frac{1}{\ell} \right) \right)$ }

から求めた希釈率 (C) は次のとおりです。

$C (r / 3 \text{ の地点 }) =$

$C (2r / 3 \text{ の地点 }) =$

$C (r \text{ の地点 }) = 0$

(注) $Q_0 =$ $m^3 / \text{日}$ (最大排水量)

$\theta =$ (拡散角度)

$d = 2 m$

$p = 864 m / \text{日}$

$x =$ m 、 $m (r / 3、2r / 3 \text{ の距離 })$

$\ell =$ $m (r \text{ の距離 })$

(3) $S' = S_1 + (S_0 - S_1) \cdot C$ から将来の水質を予測すると、

($r/3$ の地点)

$$S'(\text{COD}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

$$S'(\text{SS}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

$$S'(\text{T-N}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

$$S'(\text{T-P}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

($2r/3$ の地点)

$$S'(\text{COD}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

$$S'(\text{SS}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

$$S'(\text{T-N}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

$$S'(\text{T-P}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

(r の地点)

$$S'(\text{COD}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

$$S'(\text{SS}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

$$S'(\text{T-N}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

$$S'(\text{T-P}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

イ) 河 川

$$S' = \frac{SQ + (S_0 Q_0 - S_0' Q_0')}{Q + (Q_0 - Q_0')} \text{ から将来の水質を予測すると、}$$

地点名 ()

$$S'(\text{BOD}) = \quad =$$

$$S'(\text{COD}) = \quad =$$

$$S'(\text{SS}) = \quad =$$

$$S'(\text{T-N}) = \quad =$$

$$S'(\text{T-P}) = \quad =$$

地点名 ()

S' (BOD) = =

S' (COD) = =

S' (SS) = =

S' (T-N) = =

S' (T-P) = =

地点名 ()

S' (BOD) = =

S' (COD) = =

S' (SS) = =

S' (T-N) = =

S' (T-P) = =

(6) その他当該特定施設の設置が環境に及ぼす影響についての事前評価に関して参考となるべき事項

上述のとおり今回の計画に当たりましては、特定排水の量、総排水の量および統合排水口における汚濁負荷量について、増加は生じませんので、環境へ及ぼす影響はないものと考えます。

